



伊豆の国市立韮山中学校 学校だより

学校教育目標

「明日に希望を持ち今日を頑張る生徒」

重点目標

「かしこく考え やさしく接し たくましく生活する」

韮中だより

住所: 伊豆の国市韮山393

電話番号: 055-949-1061

令和2年11月17日発行

第38号

第2回学校評議員会ならびに学校関係者評価委員会を開催



【学校評議員】

(学校関係者評価委員も兼ねる)

○神尾たまえ様(保護司)

○中村裕子様(主任児童委員)

○久保弘明様(土手和田区長)

○杉本郁男様(元PTA会長)

【学校関係者評価委員】

○師岡正弘様(防犯アドバイザー)

○戸田恵子様(PTA会長)

○名取陽子様(PTA副会長)

11/9(月)に第2回学校評議員会ならびに学校関係者評価委員会を行いました。今回は、今年度初めての授業参観会の様子を参観しました。そして、各教室を回っていく中で、授業に臨む子供たちの姿や子供同士の自然な関わり合い、教師と子供たちとの関係作りなど、様々な視点でのご意見やご感想をいただくことができました。私たち学校にとって、この会合で得られる内容は今後の学校運営を推進していく上で、大変貴重なものです。

さて、委員の皆様から以下のような感想・質問等がありました。その一部を紹介します。

☆お年寄りを助けた記事が「ほっこり」という表現で学校だよりに掲載されていました。内容を読んで、ほっこりではなく、感激しました。そうした優しさが、今の子供たちにはあるんですね。自然にできることが素敵です。

☆先生方は「もっと挨拶ができる子供たちであってほしい」ということですが、地域の方々が声をかけていけば、子供たちは必ず、挨拶を返してくれます。大人の姿勢も求められるように思います。

☆生徒アンケート結果を見せていただいて感じたことです。大人は「どちらかという当てはまる」に付けがちですが、子供たちはしっかり「当てはまる」と答えている、その姿勢に感心しました。意思を明確に示せることは、これから生きていく上で大切なことです。

☆授業で「分からない」子供たちへの支援はどのようにしているのでしょうか。

・年間を通して、全校一斉に「チャレンジテスト」(国・数・英の基礎テスト)を行っています。「やればできる」という意欲につながる取組です。また、定期的に補充学習も進めています。

☆新型コロナウイルス感染症への対策で学校は相当の神経を使いながら教育活動を進めていることと察します。こうした状況で学校行事を行うことは大変なことです。それでも学校教育の目的を踏まえて何とかやり遂げていってほしいと思います。

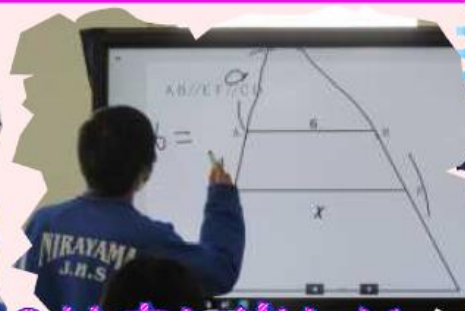


花の植え替えをしました!

環境委員会の子供たちは、花の会の皆様の協力を得て、青雲の庭や部室横花壇に花の植え替え作業を行いました。子供たちにとって、花の会の皆さんと作業ができたことはとても意義深いことでした。毎日、花が子供たちを出迎えてくれます。有難いことです。



11/6(金)に全教師で3年5組の数学科授業を参観しました。授業は「平行線と線分の比の定理(既習事項)」を利用して、台形における線分の長さについて、求める方法を説明する」という内容でした。みんなで前時までに習った定理を確認してから、新たな課題が示されました。「解決したい」という雰囲気があちこちから伝わってきました。「補助線を引くと、今まで習った定理が使えるんだよね。そうすれば線分Xの長さは求められる」という発言が出されました。いろいろな補助線を引いて⇒



課題解決に挑むのは実に楽しい～数学科授業から～

⇒解決に向かう子供たちの姿、お互いの考えを聞き合い「〇〇さんの方が僕の考えより簡単に求められていいよ。みんなに紹介したいよ」という言葉が聞こえてきたこと、理解できていない友達にわかるように説明している様子など、「学びを楽しむ」ということがよく感じられた授業でした。私たち教師にとっても実のある研修ができました。

美術授業での一風景を南校舎3階から撮りました。温かい日を浴びながら、ベランダで子供たちが楽しそうに作品について語り合っているのでしょうか。あくせくせず、時にはゆったりと時を過ごすことも必要ですね。



十一月九日(月)、内田志げる先生を講師に迎えて、「クリスマス飾りの製作」を行いました。参加した保護者の皆さんは、内田先生のアドバイスを受けながら、飾り付けを工夫していました。それぞれの思いを込めて仕上げた作品はすべて素晴らしい出来映えでした。参加した皆さんの笑顔もさるに素敵でした。

「まどろみ」



保護者の方からのご意見・感想
()年()組()
(生徒名)

※体罰やいじめ等教育活動の中で気になる点や心配なことについても遠慮なくお知らせください。